

開講科目名	計算社会科学		
担当教員	萩原 泰治	開講区分	単位数
		前期	2単位

### 授業のテーマと目標

社会科学における企業・市場・政治システムの分析手法を学ぶことにより、計算機科学による社会システムの分析をおこなう素養を身に付けることを目標とする。社会システムに関するシミュレーション分析を行う能力を身に付ける。

### 授業の概要と計画

#### 概要

1. 経済学における基礎を身に付けるため、企業行動、家計行動、市場均衡の理論を講義する。(2回)
2. 金融理論の基礎を講義する。(2回)
3. 不完全競争下における航空市場の需要関数及びQuasi供給関数の推定を行うための基礎理論を講義する。(2回)
4. 交通行動分析に関する基礎を講義する。(2回)
5. 空間経済学に関する基礎を講義する。(2回)
6. 進化ゲームに関する基礎を講義する。(1回)
7. 実験経済学に関する基礎を講義する。(2回)
8. 政治学における数量分析を、投票行動に関する分析手法を例にとり講義する。(2回)

### 成績評価方法と基準

レポート及び講義内で実施する演習の結果を総合評価し、評価が60点以上のものを合格とする。

### 履修上の注意(関連科目情報等を含む)

### オフィスアワー・連絡先

### 学生へのメッセージ

### テキスト

講義中に適宜指示する。

### 参考書・参考資料等